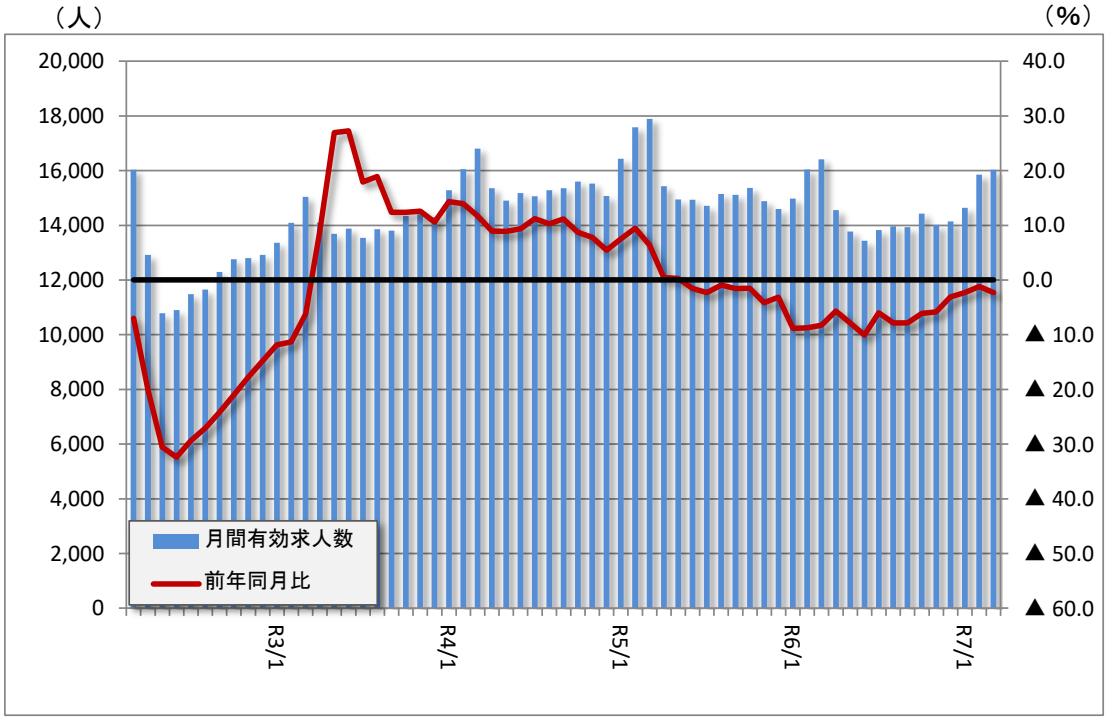
雇用所得

1 求人数（3月）

＜有効求人数（原数値）＞　22ヵ月連続のマイナスとなった。



（高知労働局）

結果概要

＜全体＞

・16,030人。前年同月比▲2.3%。

・22ヵ月連続のマイナス。

（人・%）

	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3
有効求人数	14,425	14,017	14,143	14,636	15,855	16,030
前年同月比	▲ 6.1	▲ 5.8	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 2.3

＜参考＞

（人）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有効求人数	15,852	12,584	14,505	15,769	15,214	14,383

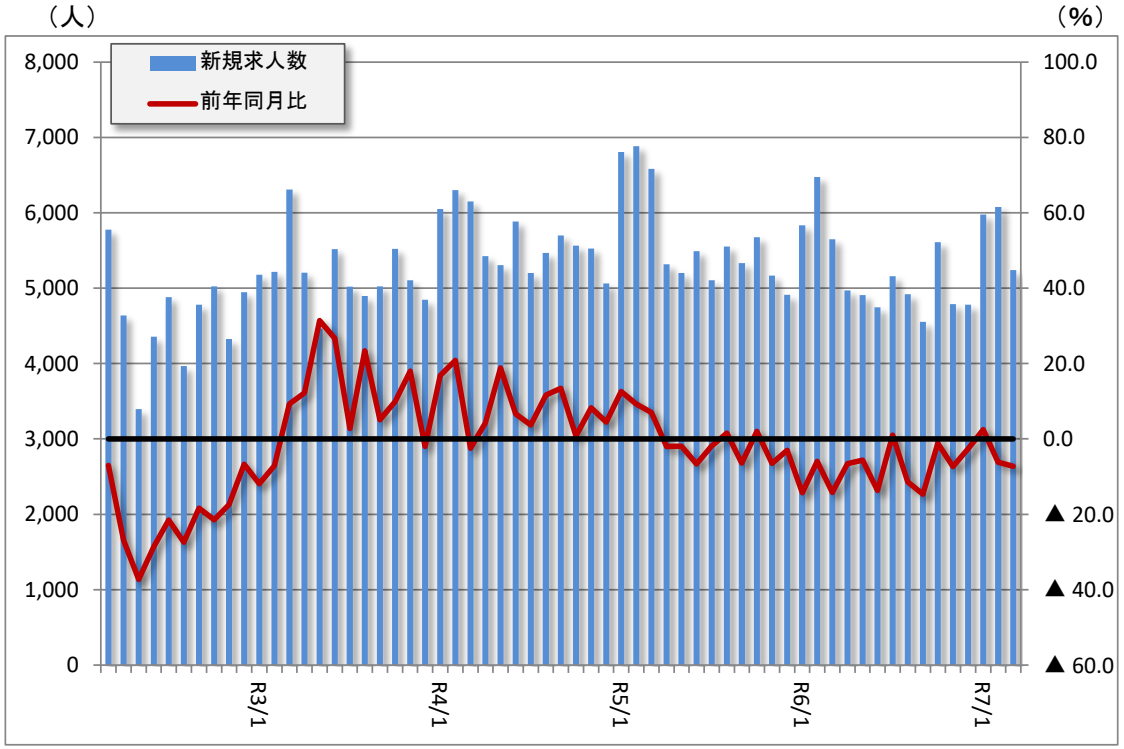
※年度の数値は月平均。

指標解説

・公共職業安定所（ハローワーク）が扱う「前月から繰越された求人数」と当月の「新規求人数」の合計数。

雇用所得

＜新規求人数（学卒除きパートタイム含む、原数値）＞「農林，漁業」、「建設業」などで増加したものの、「卸売業，小売業」、「医療，福祉」などで減少した。



（高知労働局）

結果概要

＜全体＞

・5,239人。前年同月比▲7.3%。

・2ヵ月連続のマイナス。

（人・%）

	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3
新規求人数	5,610	4,789	4,782	5,978	6,075	5,239
前年同月比	▲ 1.1	▲ 7.3	▲ 2.6	2.5	▲ 6.2	▲ 7.3

＜参考＞

（人）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
新規求人数	5,800	4,752	5,342	5,784	5,476	5,144

※年度の数値は月平均。

指標解説

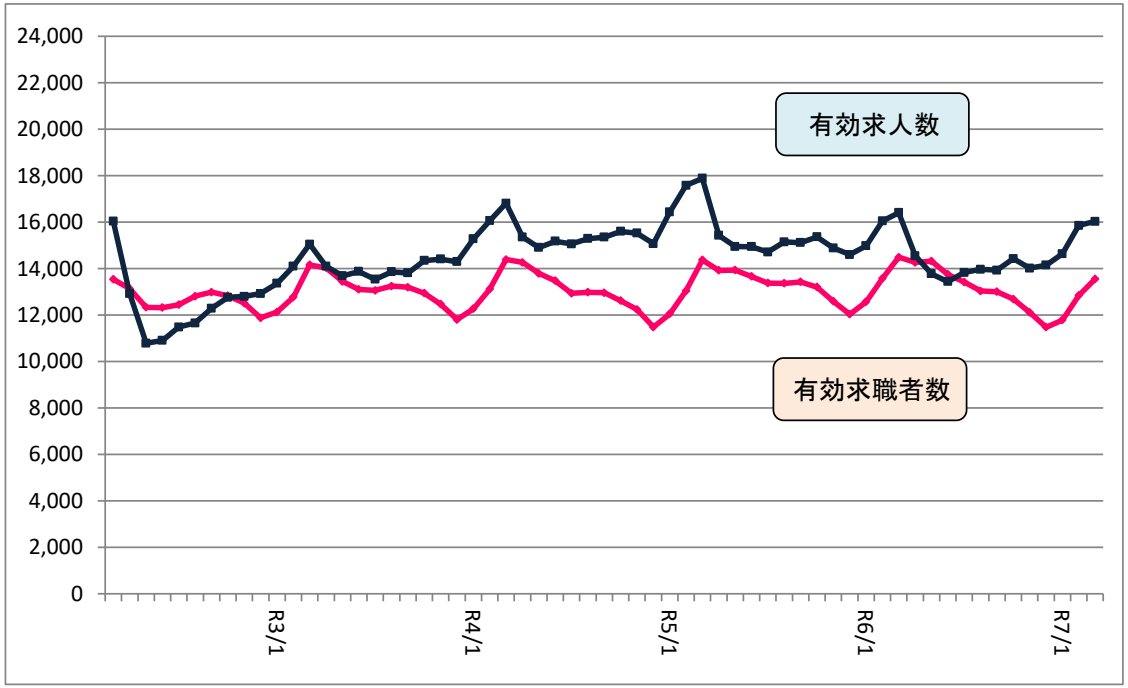
・公共職業安定所（ハローワーク）が扱うその月のうちに新たに受けた求人数（採用予定人員）。

・景気動向指数の「先行指数」の系列に採用されている。

雇用所得

[参考]＜有効求人数と有効求職者数の推移（原数値）＞

（人）



（高知労働局）

結果概要

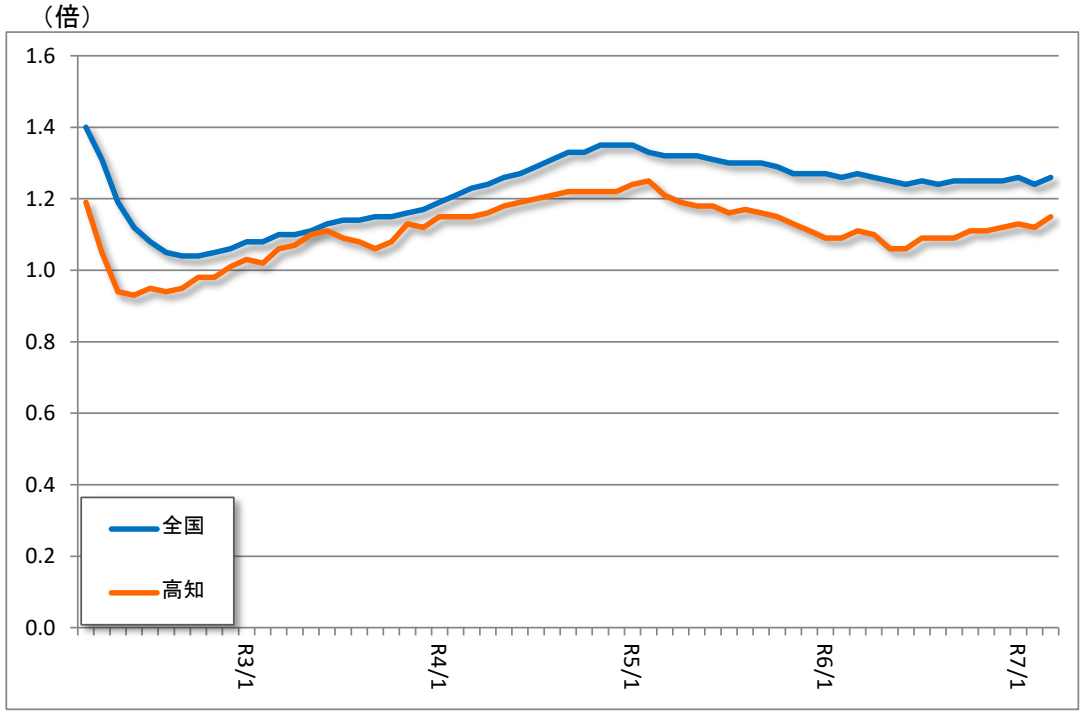
（人）

	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3
有効求職者数	12,685	12,113	11,476	11,787	12,843	13,546
有効求人数	14,425	14,017	14,143	14,636	15,855	16,030

雇用所得

2 有効求人倍率（季調値）（3月）

本県は1.15倍（前月差＋0.03ポイント）。全国は1.26倍（前月差＋0.02ポイント）。



（高知労働局）

結果概要

＜全体＞
・1.15倍。
・前月差＋0.03ポイント。

（倍）

	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3
高知県	1.11	1.11	1.12	1.13	1.12	1.15
全国	1.25	1.25	1.25	1.26	1.24	1.26

※令和6年12月以前の数値は、新季節指数により改定されています。

指標解説

・前月から繰越された数に新規の人数を加えた有効求職者数に対する有効求人数の割合で、求職者１人当たり何件の求人があるかを示すもの。

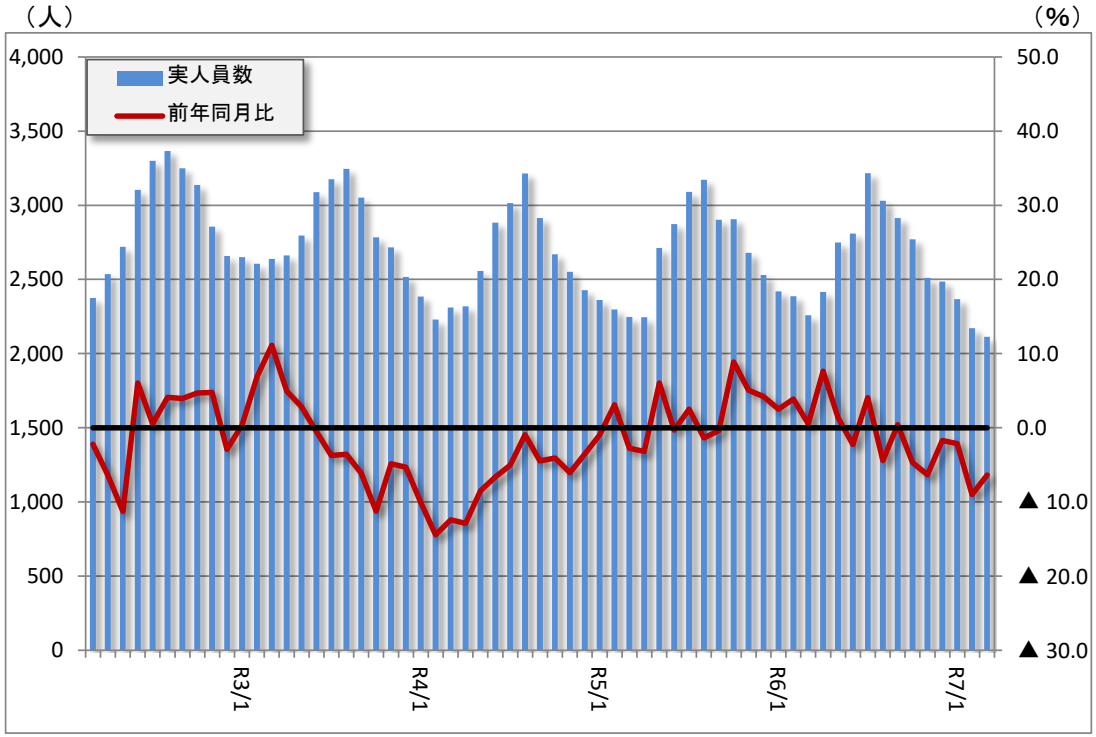
・一般に倍率が上昇しているときは、景気がよくなっていると言われている。

・景気動向指数の「一致指数」の系列に採用されている。

雇用所得

3 雇用保険受給者実人員（3月）

6ヵ月連続のマイナスとなった。



（高知労働局）

結果概要

＜全体＞
・2,114人。前年同月比▲6.4%。
・6ヵ月連続のマイナス。

（人・%）

	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2	R7/3
受給者実人員	2,770	2,510	2,486	2,368	2,172	2,114
前年同月比	▲ 4.7	▲ 6.3	▲ 1.7	▲ 2.1	▲ 9.0	▲ 6.4

＜参考＞ （人）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
受給者実人員	2,854	2,901	2,746	2,621	2,681	2,630

※年度の数値は月平均。

指標解説

・失業給付を実際に受けた受給資格者の実数で、景気が良くなれば減少する傾向にある。

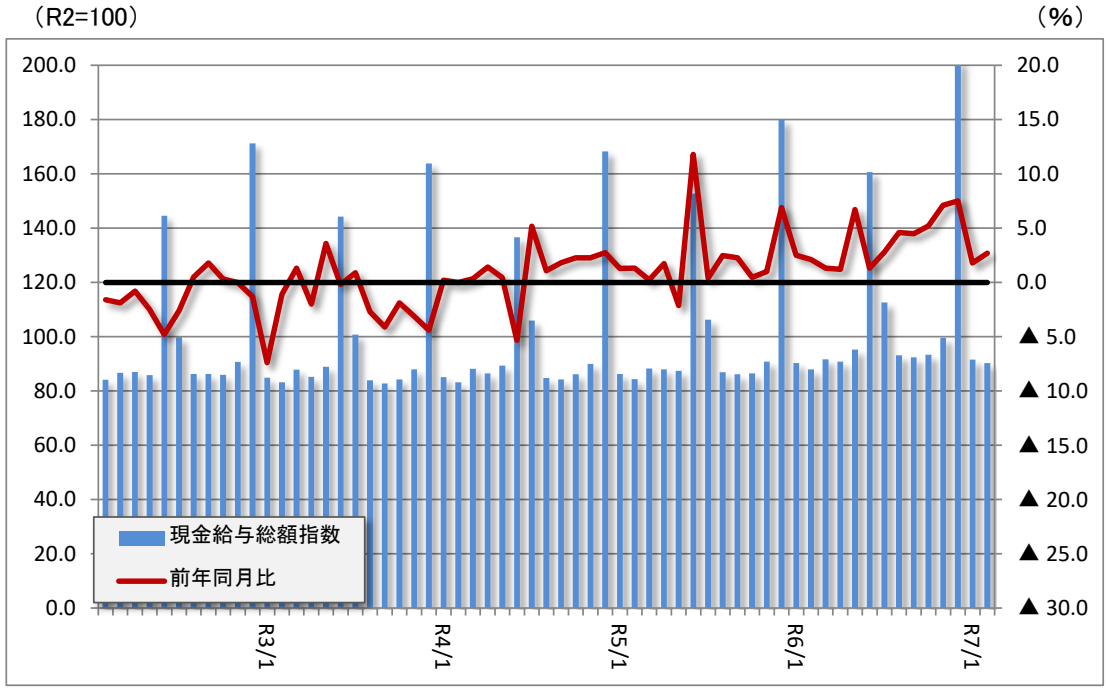
・景気動向指数の「遅行指数」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

4 毎月勤労統計（2月）

［※毎月勤労統計
従業者数5人以上の事業所を無作為に抽出して雇用、給与、労働時間の毎月の変動を調べる調査。］

＜現金給与総額指数＞ 「不動産業，物品賃貸業」、「生活関連サービス業，娯楽業」などで前年を下回ったものの、「建設業」、「宿泊業，飲食サービス業」などで前年を上回り、全体では21ヵ月連続のプラスとなった。



（高知県統計分析課）

結果概要

＜全体＞
・90.3。前年同月比＋2.7%。
・21ヵ月連続のプラス。

（R2=100）、（%）

	R6/9	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2
現金給与	92.4	93.3	99.6	201.5	91.5	90.3
前年同月比	4.5	5.2	7.1	7.5	1.8	2.7

※　最新月は速報値。

指標解説

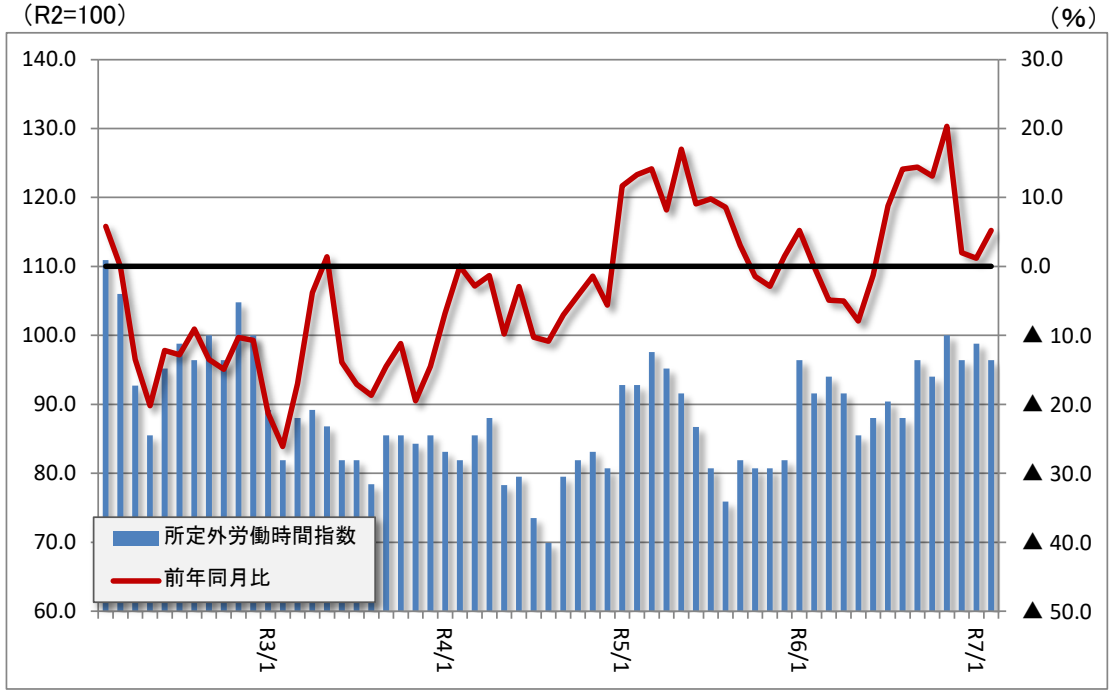
・所得税、社会保険料、組合費等を差し引く前の総額。

※現金給与総額＝　きまって支給する給与（所定内給与、時間外手当）
＋特別に支払われた給与（ボーナス、精勤手当等）

・家計における消費の元手資金となる。

雇用所得

＜所定外労働時間指数＞ 「生活関連サービス業，娯楽業」、「学術研究，専門・技術サービス業」などで前年を下回ったものの、「教育，学習支援業」、「情報通信業」などで前年を上回り、全体では8ヵ月連続のプラスとなった。



（高知県統計分析課）

結果概要

＜全体＞
・96.4。前年同月比＋5.2%。
・8ヵ月連続のプラス。

（R2=100）、（%）

	R6/9	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2
所定外労働時間	96.4	94.0	100.0	96.4	98.8	96.4
前年同月比	14.4	13.1	20.3	2.0	1.2	5.2

※　最新月は速報値。

指標解説

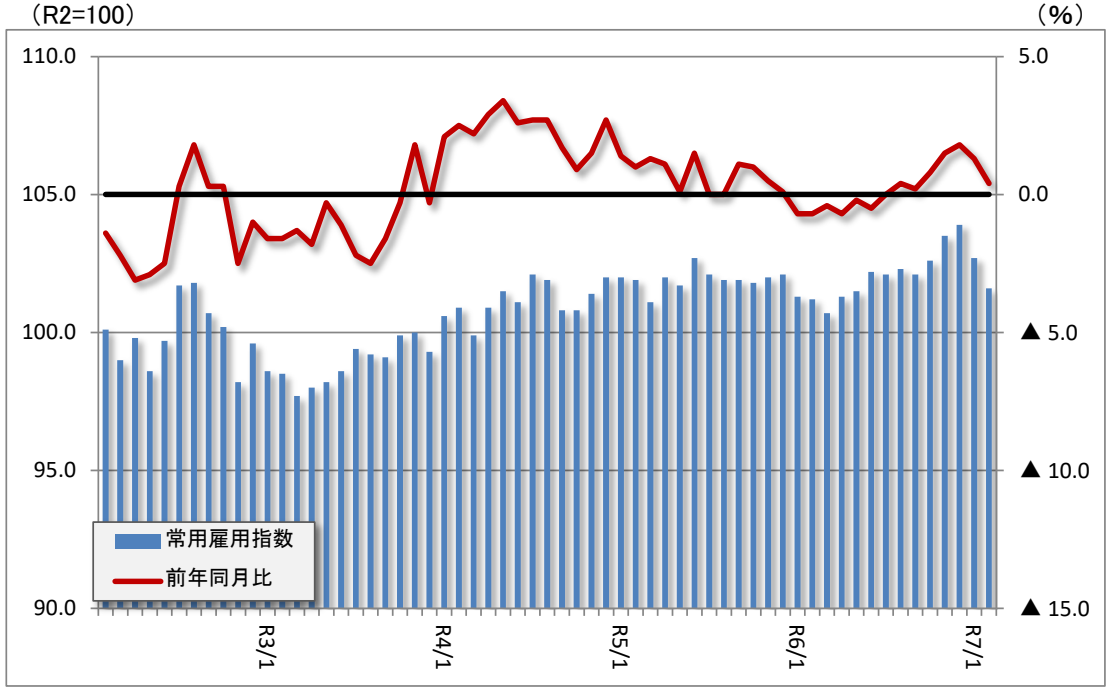
・就業規則で定められた時間を超過して勤務した時間。

・景気動向指数の「先行指数（製造業）」や「一致指数（全産業）」の系列に採用されることが多い。

雇用所得

＜常用雇用指数＞

「複合サービス業」、「不動産業，物品賃貸業」などで前年を下回ったものの、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「学術研究，専門・技術サービス業」などで前年を上回り、全体では7ヵ月連続のプラスとなった。



（高知県統計分析課）

結果概要

＜全体＞
・101.6。前年同月比＋0.4%。
・7ヵ月連続のプラス。

（R2=100）、（%）

	R6/9	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2
常用雇用	102.1	102.6	103.5	103.9	102.7	101.6
前年同月比	0.2	0.8	1.5	1.8	1.3	0.4

※　最新月は速報値。

指標解説

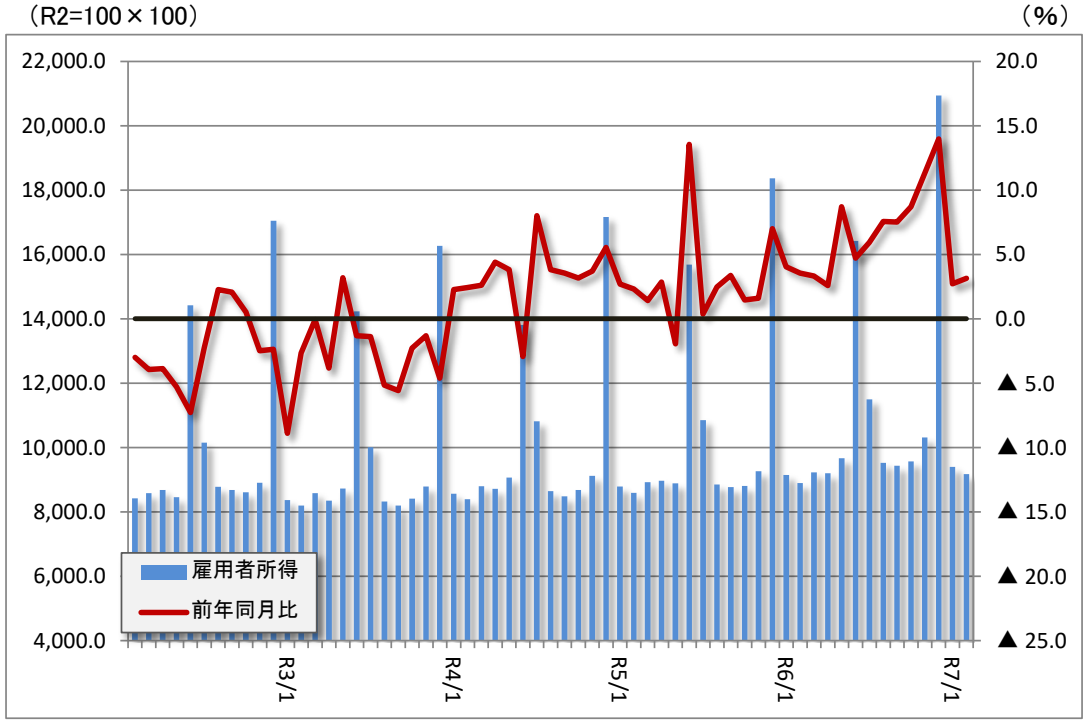
・期間を定めずに、又は1ヵ月以上の期間を定めて雇われている人

・景気動向指数の「遅行指数」の系列に採用されている。

雇用所得

＜雇用者所得指数＞

常用雇用指数、現金給与総額指数とも前年を上回り、全体では21ヵ月連続のプラスとなった。



（高知県統計分析課）

結果概要

＜全体＞
・9,174。前年同月比＋3.1%。
・21ヵ月連続のプラス。

（R2=100×100）、（%）

	R6/9	R6/10	R6/11	R6/12	R7/1	R7/2
雇用者所得	9,434	9,573	10,309	20,936	9,397	9,174
前年同月比	7.5	8.7	11.3	14.0	2.7	3.1

※　最新月は速報値。

指標解説

・現金給与総額指数と常用雇用指数の積で、県全体の雇用者所得の動きを把握する指標の1つである。